



●全国・関東大会出場おめでとう! この夏も、中学生が各種大会で大活躍!

全国・関東大会への出場が決定した中学生を紹介します

この夏、「茨城県中学校総合体育大会」を勝ち抜き、全国・関東の各種大会(8月開催)への出場が決定した中学生たちが、7月21日と8月2日に、村長・教育長へ報告に訪れました。各種目と出場選手は下表の通りです(括弧内の順位は県大会での結果)。なお、東海中学校陸上部については、「茨城県中学校総合体育大会」(陸上競技の部)で、男子総合優勝という快挙を成し遂げました。おめでとうございます。

種目	氏名	中学校名	出場大会
陸上競技	男子4×100mリレー 川上大輝・小貫撰良・小沼剣真・高田友稔・長嶋大樹・長嶋海斗(1位)	東海	全国・関東
	女子4×100mリレー 杉山令奈・藤田結衣・菊池鈴凜・岩間瑞希・大坂部悠花・椎名美紀(2位)	東海	関東
	男子1500m 金子鉄平(2位)	東海	関東
	棒高跳び 鈴木健礼(3位)	東海	関東
	女子砲丸投げ 光永ひかり(3位)	東海南	関東
水泳	女子100・200m背泳ぎ 坏かやの(100m・6位、200m・5位)	東海	関東
	男子200・400m自由形 稲野辺雅斗(6位)	東海南	関東
弓道	男子団体 佐藤翼・荻内翼・川井龍真・小林真人(7位)	東海	関東
	女子団体 高橋萌由・松井優美・仲田琴美・友部穂乃歌(3位)	東海	関東
	男子団体 富岡恵人・小玉智博・菊池泰洋・儘田智也(4位)	東海南	関東
卓球	男子団体 仙田大空・鈴木大晴・小野航平・福地広空・添田翼・梶原楓真・澤畠駿介・久保和也(4位)	東海南	関東



陸上部・水泳部の生徒たち

団体優勝を目指します!



弓道部・卓球部の生徒たち



※大潭國民小學…台湾南部に位置する屏東縣東港鎮にある1923年に設置された児童数約170人の小学校。鄭志隆校長は、原子力発電所が立地する地域の学校で教鞭をとった経験があり、日本の原子力技術発祥の地として東海村を認知していたことから、東海村の小学校を見学したいと希望していました。

●台湾からのお客様、白方小学校を訪問

台湾の小学校の先生等が、日本の教育現場を見学

7月8日、台湾の小学校・特別支援学校の先生(19人)と小学生(2人)、中学生(1人)が、白方小学校の授業風景や学校施設を見学しました。訪問団の代表である台湾屏東縣立大潭國民小學の鄭志隆校長は、第二外国語に日本語を取り入れているほか、日本から和太鼓等を取り寄せるなど、言葉と文化を合わせた学習に取り組んでおり、今回の訪問は日本語や日本の教育方針を学びたいという校長の思いから実現されたもの。一行は、6年生の児童たちと給食を共にし、自校式給食の味を体験したほか、日本の小学校文化・習慣に興味津々な様子でした。児童からも積極的に声を掛けるなど、新たな国際交流が芽生えました。

【お詫び】中学生の全国・関東大会出場報告の記事で、表中の名前に誤りがありました。この紙面はデータを修正し、正しい内容を記載しています。

ず〜むあっぷ「まちの風景」

●運動習慣づくりのきっかけに！

「とうかい朝ウォーク2016」

7月30日、総合福祉センター「絆」周辺で、「とうかい朝ウォーク2016」が行われました。今年で2回目となったこのイベントですが、今回は、開催日の1週間前から歩数を記録し、目標歩数の達成を目指す企画や、コースに「押延・天神山 水と緑の里山コース」が加えられるなど、新たな試みも盛りだくさん。約530人の参加者たちは、早朝のウォーキングでさわやかに汗を流した後、東海村食生活改善推進員の皆さんが作った野菜たっぷりスープや東海村おすすめセレクションを試食したり、地元の新鮮野菜を購入したりと、楽しいひとときとなったようです。ウォーキングは全身の有酸素運動になるほか、自然を感じながら歩くことで、リラックス効果もあります。今回はイベントとして参加した方も、これを機に普段から歩く習慣を意識していきたいですね。



(写真①)「押延・天神山 水と緑の里山コース」を歩く参加者たち
(写真②③)野菜たっぷりスープで疲れた体を癒す参加者たち

●女子野球選手の先駆けに！

「オール東海ジュニアスポーツ少年団」女子団員2人が県代表に

このたび、オール東海ジュニアスポーツ少年団から澤畑香菜さん(舟石川小学校6年)と大久保聖弥さん(ひたちなか市立高野小学校6年)が茨城県代表として、学童軟式女子野球の全国大会「NPB ガールズトーナメント2016」(8月6日～11日)に出場することが決定し、7月29日、村長へ報告に訪れました。女子選手が県の代表として選ばれたのは村内初。チームの中で生き生きとプレーする2人の姿が審査員の目に留まったようです。1年生のころからたくさんの練習を重ねてきた2人。山田村長からは、「2人が女子野球選手の先駆けとなることを期待しています」と、激励の言葉が贈られました。



(写真左から)川崎教育長、澤畑さん、大久保さん、山田村長、小園江利之さん(オール東海ジュニアスポーツ少年団長)

●東海村役場インターンシップ生にインタビュー！

「インターンシップ@東海村役場」

8月1日～5日に、インターンシップ生として、役場(広報広聴課)で受け入れた、茨城大学教育学部4年の佐野亜季子さんにインタビューしました。

▼インターンシップを希望した理由は…地域の方と深く関わり、地域のために働きたいという気持ちがあり、将来は公務員となることを志望しています。そこで、実際の職場で仕事を体験し、そこから学ぶことが大切だと思ったからです。▼一番印象に残ったことは…村の姉妹都市であるアイダホフォールズ市の学生たちの取材に行ったことです。中学校で部活動を体験する姿を、学生さんとコミュニケーションをとりながら撮影し、その写真をフェイスブックに載せるところまでを体験させていただき、読み手にとっての分かりやすさなどを意識しながら記事を作ることの大切さを学びました。▼感想・今後の意気込みは…さまざまな仕事を体験させていただき、感謝しています。地域の方々のために役立てる人材になれるよう、残りの学生生活を有意義に過ごしていきたいと思っています。



村と情報発信に関する協定を結ぶFMぱるるんの収録に挑戦する佐野さん(写真右)